

運用報告書 (全体版)

第3期<決算日2019年10月15日>

たわらノーロード NYダウ

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式 (インデックス型)	
信託期間	2017年3月21日から無期限です。	
運用方針	ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース、為替ヘッジなし) の動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	たわらノーロード NYダウ	NYダウ・インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	NYダウ・インデックス・マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場する株式を主要投資対象とします。
運用方法	マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
	マザーファンドにおいては、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース、為替ヘッジなし) への連動性を高めるため、上場投資信託証券に投資を行う場合があります。また、有価証券先物取引等を活用する場合があります。	
組入制限	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。	
	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。株式への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日 (原則として10月12日。休業日の場合は翌営業日。) に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益 (マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額 (以下「みなし配当等収益」といいます。)) を含みます。) および売買益 (評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額) 等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「たわらノーロード NYダウ」は、2019年10月15日に第3期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ダウ・ジョーンズ工業株価平均		株式組入比率	株式先物比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(円換算ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)	期中 騰落率				
(設定日) 2017年3月21日	円	円	%	ポイント (3月22日)	%	%	%	%	百万円
	10,000	-	-	2,309,030.62	-	-	-	-	300
1期 (2017年10月12日)	11,236	0	12.4	2,572,056.02	11.4	90.9	-	9.4	582
2期 (2018年10月12日)	12,466	0	10.9	2,810,677.45	9.3	92.8	-	8.3	1,253
3期 (2019年10月15日)	13,117	0	5.2	2,904,285.13	3.3	92.9	-	7.7	1,740

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託受益証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注4) ベンチマークはダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース、為替ヘッジなし) です。なお、算出にあたっては基準価額への反映を考慮した日の米ドルベース指数をもとに委託会社が独自に円換算しています (以下同じ)。

(注5) ダウ・ジョーンズ工業株価平均は、S&P Globalの一部門であるS & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社 (「SPDJ I」) の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS & P®は、S&P Globalの一部門であるスタンダード・プアーズ・ファイナンシャル・サービシズLLC (「S & P」) の登録商標で、Dow Jones®は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLC (「Dow Jones」) の登録商標です。本商品は、SPDJ I、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、ダウ・ジョーンズ工業株価平均のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません (以下同じ)。

(注6) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基準価額		ダウ・ジョーンズ 工業株価平均 (円換算ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)		株式組入 率	株式先物 率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰落率		騰落率			
(期首) 2018年10月12日	円	%	ポイント	%	%	%	%
10月12日	12,466	—	2,810,677.45	—	92.8	—	8.3
10月末	12,498	0.3	2,817,301.87	0.2	95.6	—	4.2
11月末	12,792	2.6	2,875,197.89	2.3	93.0	—	6.4
12月末	11,440	△8.2	2,568,409.15	△8.6	95.6	—	4.2
2019年1月末	12,153	△2.5	2,725,619.47	△3.0	92.7	—	6.9
2月末	12,877	3.3	2,880,974.61	2.5	95.8	—	3.3
3月末	12,773	2.5	2,854,381.25	1.6	95.8	—	4.2
4月末	13,248	6.3	2,959,784.05	5.3	98.7	—	0.4
5月末	12,359	△0.9	2,752,577.96	△2.1	95.9	—	4.3
6月末	12,849	3.1	2,859,300.26	1.7	98.0	—	6.6
7月末	13,287	6.6	2,954,792.41	5.1	96.0	—	4.7
8月末	12,659	1.5	2,806,525.16	△0.1	92.8	—	7.3
9月末	13,066	4.8	2,894,441.31	3.0	96.7	—	5.5
(期末) 2019年10月15日	13,117	5.2	2,904,285.13	3.3	92.9	—	7.7

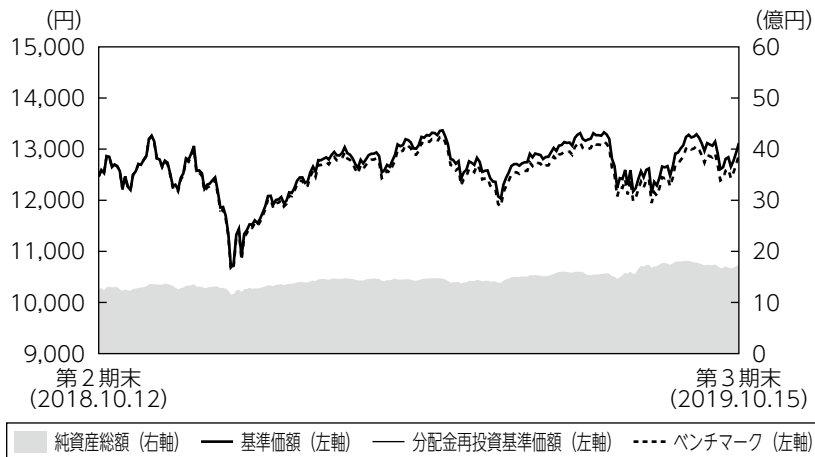
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託受益証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2018年10月13日から2019年10月15日まで）

基準価額等の推移



第3期首：12,466円
第3期末：13,117円
(既払分配金0円)
騰落率：5.2%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

為替市場で米ドル安円高となったことはマイナス寄与となったものの、米国株式市場が上昇したことなどはプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

投資環境

米国株式市場は、2018年末にかけて弱含みましたが、年明け以降は、パウエルF R B（米連邦準備理事会）議長が、金融引き締めを急がない姿勢を示したことなどから2019年4月下旬にかけて堅調に推移しました。その後は、米中通商協議の行方を睨み、期末にかけては方向感の定まらない展開となりましたが、前期末比では上昇して期末を迎えました。

為替市場では期初、F R Bの利上げ姿勢を受けて米ドルは対円で上昇しましたが、2018年末にかけては世界的な株安や米国の政治動向への不安などから米ドル安となりました。2019年1月以降は米中貿易摩擦への懸念とF R Bの利下げ観測の高まりによって為替市場が上下する展開となり、期末には前期末に比べ米ドル安円高となりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

NYダウ・インデックス・マザーファンドの組入比率を期を通じて高位に維持するよう運用しました。

●NYダウ・インデックス・マザーファンド

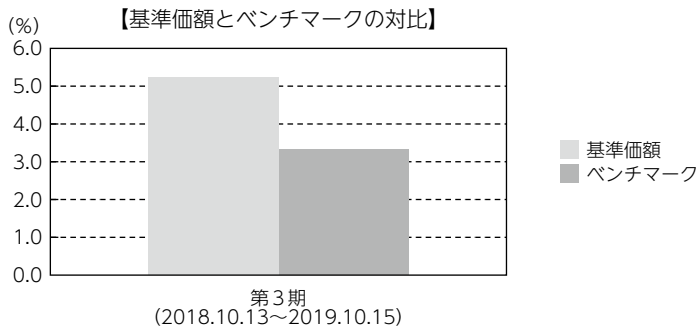
ベンチマークであるダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

※運用状況については13ページをご参照ください。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で3.3%上昇しました。

当ファンドはベンチマーク比で+1.9%となりました。ファンドとベンチマークの差の要因としては、当ファンドに組入れているマザーファンドでは保有している株式等の配当金が計上されたのに対して、ベンチマークには配当分が含まれていないことなどがあげられます。



(注) 基準価額の騰落率は配当金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2018年10月13日 ～2019年10月15日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	3,116円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、NYダウ・インデックス・マザーファンドの組入比率を高位に維持します。

●NYダウ・インデックス・マザーファンド

引き続き、ベンチマークとポートフォリオのリスク特性を極力一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	(2018年10月13日 ～2019年10月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	31円	0.245%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,655円です。
(投信会社)	(14)	(0.109)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(14)	(0.109)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.040	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(2)	(0.016)	
(投資信託受益証券)	(3)	(0.024)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	11	0.091	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(11)	(0.086)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	48	0.377	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

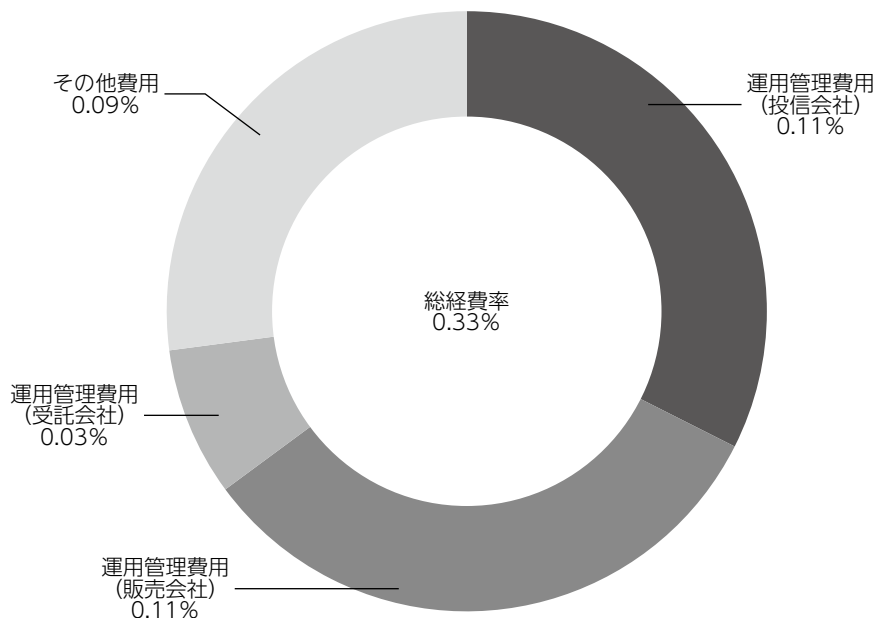
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.33%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2018年10月13日から2019年10月15日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
NYダウ・インデックス・マザーファンド	千口 792,459	千円 998,685	千口 475,790	千円 611,611

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	NYダウ・インデックス・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	3,426,441千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,916,644千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.78

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等（2018年10月13日から2019年10月15日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■自社による当ファンドの設定・解約状況

期首残高 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高 (元本)	取 引 の 理 由
百万円 60	百万円 -	百万円 60	百万円 -	当初設定時又は当初運用時における取得の処分

■組入資産の明細

親投資信託残高

	期首 (前期末)	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
NYダウ・インデックス・マザーファンド	千口 1,001,332	千口 1,318,000	千円 1,740,024

■投資信託財産の構成

2019年10月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
NYダウ・インデックス・マザーファンド	1,740,024	99.7
コール・ローン等、その他	4,638	0.3
投資信託財産総額	1,744,663	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2019年10月15日現在、NYダウ・インデックス・マザーファンドは5,011,456千円、98.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年10月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=108.42円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年10月15日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,744,663,347円
コール・ローン等	4,638,641
NYダウ・インデックス・マザーファンド(評価額)	1,740,024,706
(B) 負 債	4,603,842
未払解約金	2,624,229
未払信託報酬	1,950,064
その他未払費用	29,549
(C) 純資産総額(A-B)	1,740,059,505
元 本	1,326,606,624
次期繰越損益金	413,452,881
(D) 受益権総口数	1,326,606,624口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,117円

(注) 期首における元本額は1,005,378,033円、当期中における追加設定元本額は1,293,359,840円、同解約元本額は972,131,249円です。

■損益の状況

当期 自2018年10月13日 至2019年10月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△4,348円
受 取 利 息	2,024
支 払 利 息	△6,372
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	77,207,061
買 入 損 益	112,708,277
売 出 損 益	△35,501,216
(C) 信 託 報 酬 等	△3,639,005
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	73,563,708
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	25,545,439
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	314,343,734
(配 当 等 相 当 額)	(168,625,472)
(売 買 損 益 相 当 額)	(145,718,262)
(G) 合 計(D+E+F)	413,452,881
次 期 繰 越 損 益 金(G)	413,452,881
追 加 信 託 差 損 益 金	314,343,734
(配 当 等 相 当 額)	(171,426,857)
(売 買 損 益 相 当 額)	(142,916,877)
分 配 準 備 積 立 金	99,109,147

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	28,777,055円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	44,786,653
(c) 収 益 調 整 金	314,343,734
(d) 分 配 準 備 積 立 金	25,545,439
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	413,452,881
(f) 1万口当たり当期分配対象額	3,116.62
(g) 分 配 金	0
(h) 1万口当たり分配金	0

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。

NYダウ・インデックス・マザーファンド

運用報告書

第3期（決算日 2019年10月15日）

（計算期間 2018年10月13日～2019年10月15日）

NYダウ・インデックス・マザーファンドの第3期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2017年3月21日から無期限です。
運用方針	ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）に連動する投資成果をめざして運用を行います。
主要投資対象	米国の金融商品取引所に上場する株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ダウ・ジョーンズ工業株価平均		株式組入率	株式先物率	投資信託受益証券組入比率	純資産額
	円	騰落率	(円換算ベース、為替ヘッジなし) (ベンチマーク)	騰落率				
(設定日) 2017年3月21日	円	%	ポイント (3月22日)	%	%	%	%	百万円
	10,000	-	2,309,030.62	-	-	-	-	299
1期(2017年10月12日)	11,253	12.5	2,572,056.02	11.4	90.9	-	9.4	582
2期(2018年10月12日)	12,516	11.2	2,810,677.45	9.3	92.8	-	8.3	1,253
3期(2019年10月15日)	13,202	5.5	2,904,285.13	3.3	92.9	-	7.7	5,014

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注3) ベンチマークはダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）です。なお、算出にあたっては基準価額への反映を考慮した日の米ドルベース指数をもとに委託会社が独自に円換算しています（以下同じ）。

(注4) ダウ・ジョーンズ工業株価平均は、S&P Globalの一部門であるS & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS & P®は、S&P Globalの一部門であるスタンダード・プアーズ・ファイナンシャル・サービスズLLC（「S & P」）の登録商標で、Dow Jones®は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLC（「Dow Jones」）の登録商標です。本商品は、SPDJ、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、ダウ・ジョーンズ工業株価平均のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません（以下同じ）。

(注5) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

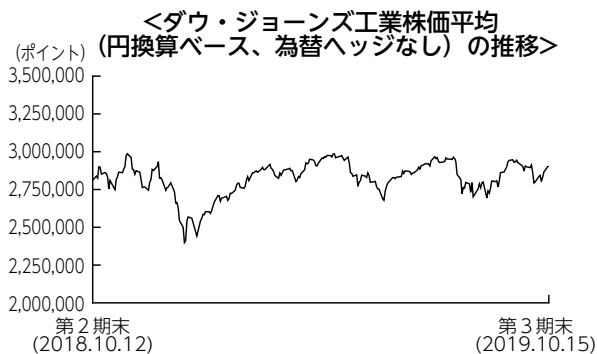
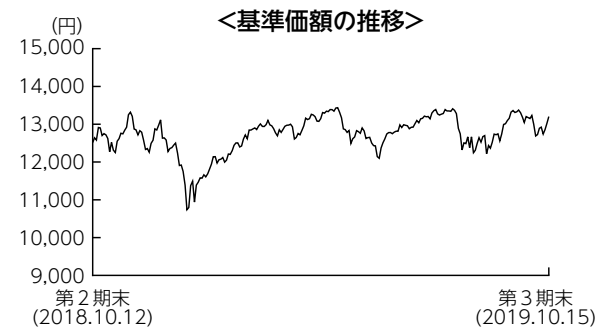
■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		ダウ・ジョーンズ 工 業 株 価 平 均		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率		(円換算ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)	騰 落 率			
(期 首) 2018年10月12日	円	%	ポイント	%	%	%	%
	12,516	—	2,810,677.45	—	92.8	—	8.3
10 月 末	12,550	0.3	2,817,301.87	0.2	95.6	—	4.2
11 月 末	12,847	2.6	2,875,197.89	2.3	93.0	—	6.4
12 月 末	11,492	△8.2	2,568,409.15	△8.6	95.6	—	4.2
2019年1 月 末	12,211	△2.4	2,725,619.47	△3.0	92.7	—	6.9
2 月 末	12,941	3.4	2,880,974.61	2.5	95.8	—	3.3
3 月 末	12,839	2.6	2,854,381.25	1.6	95.8	—	4.2
4 月 末	13,319	6.4	2,959,784.05	5.3	98.7	—	0.4
5 月 末	12,428	△0.7	2,752,577.96	△2.1	95.9	—	4.3
6 月 末	12,923	3.3	2,859,300.26	1.7	98.0	—	6.6
7 月 末	13,367	6.8	2,954,792.41	5.1	96.0	—	4.7
8 月 末	12,737	1.8	2,806,525.16	△0.1	92.8	—	7.3
9 月 末	13,150	5.1	2,894,441.31	3.0	96.7	—	5.5
(期 末) 2019年10月15日	13,202	5.5	2,904,285.13	3.3	92.9	—	7.7

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2018年10月13日から2019年10月15日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は13,202円となり、前期末に比べ5.5%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

為替市場で米ドル安円高となったことはマイナス寄与となったものの、米国株式市場が上昇したことなどはプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

投資環境

米国株式市場は、2018年末にかけて弱含みましたが、年明け以降は、パウエルF R B（米連邦準備理事会）議長が、金融引き締めを急がない姿勢を示したことなどから2019年4月下旬にかけて堅調に推移しました。その後は、米中通商協議の行方を睨み、期末にかけては方向感の定まらない展開となりましたが、前期末比では上昇して期末を迎えました。

為替市場では期初、F R Bの利上げ姿勢を受けて米ドルは対円で上昇しましたが、2018年末にかけては世界的な株安や米国の政治動向への不安などから米ドル安となりました。2019年1月以降は米中貿易摩擦への懸念とF R Bの利下げ観測の高まりによって為替市場が上下する展開となり、期末には前期末に比べ米ドル安円高となりました。

ポートフォリオについて

ベンチマークであるダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

【運用状況】

○組入上位10業種

期首（前期末）

No.	業種	組入比率
1	資本財	20.7%
2	ソフトウェア・サービス	9.5
3	その他	8.3
4	各種金融	7.9
5	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.5
6	ヘルスケア機器・サービス	6.5
7	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.2
8	エネルギー	5.0
9	小売	4.8
10	食品・生活必需品小売り	4.1

期末

No.	業種	組入比率
1	資本財	18.8%
2	ソフトウェア・サービス	10.8
3	その他	7.7
4	各種金融	7.6
5	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.6
6	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	5.9
7	小売	5.5
8	ヘルスケア機器・サービス	5.2
9	消費者サービス	4.9
10	エネルギー	4.4



(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 業種は各決算日時点でのGICS（世界産業分類基準）によるものです。

(注3) その他にはETF等が含まれます。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で3.3%上昇しました。

当ファンドはベンチマーク比で+2.2%となりました。ファンドとベンチマークの差の要因としては、ファンドが保有している株式等の配当金が計上されたのに対して、ベンチマークには配当分が含まれていないことなどがあげられます。

今後の運用方針

引き続き、ベンチマークとポートフォリオのリスク特性を極力一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投資信託受益証券)	6円 (3) (3)	0.047% (0.020) (0.027)
(b) 有価証券取引税 (株 式) (投資信託受益証券)	0 (0) (0)	0.002 (0.000) (0.002)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	11 (11) (0)	0.084 (0.084) (0.000)
合 計	17	0.133

(注) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(12,722円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については6ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

■ 売買及び取引の状況 (2018年10月13日から2019年10月15日まで)

(1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国		百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
ア	メ	2,451.4 (10.99)	31,533 (-)	39.89	215

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は、株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資信託受益証券

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
アメリカ	千□	千アメリカ・ドル	千□	千アメリカ・ドル
SPDR DOW JONES INDUSTRIAL AVERAGE ETF TRUST	78.544 (-)	20,587 (-)	68.952 (-)	17,982 (-)

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は合併、分割等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	3,426,441千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,916,644千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)÷(b)	1.78

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2018年10月13日から2019年10月15日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額	
	株	株	外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
INTL BUSINESS MACHINES CORP	28.06	108.81	1,545	167,567	情報技術サービス
AMERICAN EXPRESS CO	28.06	108.81	1,266	137,307	消費者金融
APPLE INC	28.06	108.81	2,566	278,260	コンピュータ・周辺機器
VERIZON COMM INC	28.06	108.81	648	70,311	各種電気通信サービス
BOEING CO	28.06	108.81	4,060	440,247	航空宇宙・防衛
CATERPILLAR INC	28.06	108.81	1,396	151,452	機械
JPMORGAN CHASE & CO	28.06	108.81	1,267	137,378	銀行
CISCO SYSTEMS INC	28.06	108.81	501	54,326	通信機器
COCA-COLA CO/THE	28.06	108.81	579	62,878	飲料
THE WALT DISNEY CO	28.06	108.81	1,411	153,009	娯楽
EXXON MOBIL CORP	28.06	108.81	752	81,612	石油・ガス・消耗燃料
GOLDMAN SACHS GROUP INC	28.06	108.81	2,239	242,809	資本市場
HOME DEPOT INC	28.06	108.81	2,548	276,266	専門小売り
INTEL CORP	28.06	108.81	561	60,920	半導体・半導体製造装置
JOHNSON & JOHNSON	28.06	108.81	1,422	154,212	医薬品
MCDONALD'S CORPORATION	28.06	108.81	2,267	245,829	ホテル・レストラン・レジャー
MERCK & CO.INC.	28.06	108.81	921	99,910	医薬品
MICROSOFT CORP	28.06	108.81	1,518	164,629	ソフトウェア
3M CO	28.06	108.81	1,746	189,356	コングロメリット
NIKE INC-CL B	28.06	108.81	1,032	111,931	繊維・アパレル・贅沢品
PFIZER INC	28.06	108.81	394	42,823	医薬品
PROCTER & GAMBLE CO	28.06	108.81	1,306	141,625	家庭用品
THE TRAVELERS COMPANIES INC	28.06	108.81	1,557	168,829	保険
CHEVRON CORP	28.06	108.81	1,264	137,059	石油・ガス・消耗燃料
UNITED TECHNOLOGIES CORP	28.06	108.81	1,478	160,347	航空宇宙・防衛
UNITEDHEALTH GROUP INC	28.06	108.81	2,400	260,233	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	28.06	108.81	583	63,315	食品・生活必需品小売り
WALMART INC	28.06	108.81	1,296	140,586	食品・生活必需品小売り
VISA INC	28.06	108.81	1,929	209,234	情報技術サービス
DOW INC	-	108.81	509	55,234	化学
DUPONT DE NEMOURS INC	28.06	-	-	-	化学
合 計	株 数	株 数	外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
	30銘柄	30銘柄	-	<92.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、期末の純資産総額に対する株式評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

(2) 外国投資信託受益証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	□ 数	□ 数	外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
(アメリカ)	千□	千□	千アメリカ・ドル	千円
SPDR DOW JONES INDUSTRIAL AVERAGE ETF TRUST	3.71	13.302	3,563	386,308
合 計	□ 数	□ 数	外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
	1銘柄	1銘柄	-	-

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、期末の純資産総額に対する投資信託受益証券評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

■投資信託財産の構成

2019年10月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 4,659,508	% 91.3
投 資 信 託 受 益 証 券	386,308	7.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	58,606	1.1
投 資 信 託 財 産 総 額	5,104,423	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、5,011,456千円、98.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年10月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=108.42円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年10月15日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	5,143,342,792円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	55,653,009
株 式(評価額)	4,659,508,669
投 資 信 託 受 益 証 券(評価額)	386,308,453
未 収 入 金	38,919,190
未 収 配 当 金	2,953,471
(B) 負 債	128,871,557
未 払 金	128,871,557
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	5,014,471,235
元 本	3,798,383,249
次 期 繰 越 損 益 金	1,216,087,986
(D) 受 益 権 総 口 数	3,798,383,249口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,202円

(注1) 期首元本額 1,001,332,512円
追加設定元本額 3,272,870,468円
一部解約元本額 475,819,731円

(注2) 期末における元本の内訳
たわらノーロード NYダウ 1,318,000,838円
One NYダウ・インデックス・ファンド 2,480,382,411円
期末元本合計 3,798,383,249円

■損益の状況

当期 自2018年10月13日 至2019年10月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	41,982,071円
受 取 配 当 金	41,954,962
受 取 利 息	30,835
支 払 利 息	△3,726
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	128,778,225
売 買 損 益	241,127,135
売 買 損 益	△112,348,910
(C) そ の 他 費 用	△1,675,351
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	169,084,945
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	251,971,778
(F) 解 約 差 損 益 金	△135,828,269
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	930,859,532
(H) 合 計(D+E+F+G)	1,216,087,986
次 期 繰 越 損 益 金(H)	1,216,087,986

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。